

卒業おめでとう!

本校では3月11日(火)に卒業式を挙行了しました。今年度は、中学部3人、高等部25人、計28人が卒業しました。

校訓『じょうぶで 明るく 粘り強く』のもと、一人一人がもてる力を一杯発揮し、3ヶ月12年間、自分の夢実現のためにがんばってきました。

豊川校区の皆様には、日頃から本校児童生徒を温かく見守っていただき、ますますともに、多くの行事や教育活動に御支援・御協力をいただき、生徒たちはたくさん思い出を作ることができました。心より感謝申し上げます。

28人の生徒は、卒業後、それぞれの地域社会の一員として、巣立っていきます。卒業後も、「明るいあいさつ」「チャレンジ」に努め、新たな夢の実現に向かって努力してほしいと願っています。

地域の皆様におかれましては、今後とも本校卒業生に温かい声援をお願いしますとともに、本校教育へ御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

きらり☆
松橋支援学校 広報誌

中学部



3年生のために、1, 2年生が「ありがとう会」を開きました。全員で合奏したり、思い出ビデオを見たりして盛り上がりました。お祝いのメッセージと手作りのティッシュボックスがプレゼントされました。最後に3年生が制作した中学部月行事ボードを1, 2年生に贈り、みんなの思い出に残る会となりました。

第20号

平成26年

3月発行

熊本県立
松橋支援学校

〒869-0543

宇城市松橋町

南豊崎252

TEL 0964-32-0729

高等部1組



洋食のテーブルマナーを学ぶ校外学習を行いました。銀色に輝く食器と次々に給仕される料理に圧倒されながらも、生徒達は講師の先生に従い、正しい作法で食事を楽しむことができました。

高等部2組



美術の時間に卒業記念作品制作を行いました。それぞれ今まで培ってきた力を発揮して、ビーズ・写真立て・タイル・ステンシル・水墨画・足跡など、個性豊かで楽しい作品ができました。

高等部専門学科



卒業後の生活に必要な力をつけるために、3学期は自立支援プログラムに取り組みました。紳士服店の方に来ていただき、スーツの着こなし方、ネクタイの結び方などを教えていただきました。ビジネスマナーも御指導いただき、社会人としての心構えができたようです。

平成25・26年度 文部科学省指定研究

中間報告会

本校は平成25・26年度の2ヶ年にわたり、文部科学省指定研究に取り組んでいます。研究テーマは「知肢併設特別支援学校における各教科等にわたる個別の支援・指導計画を活用した効果的な授業研究の在り方に関する研究」です。11月8日（金）に行った研究推進委員会での課題をふまえ、2月27日（木）に中間報告会を実施し、県内外より70人の御参加をいただきました。今回の中間報告会では公開授業や研究授業、分科会ごとの研究報告を行い、福岡教育大学准教授一木薫様に御講演いただきました。

分科会では高等部普通科一般学級・専門学科部会には九州ルーテル学院大学一門恵子様、高等部普通科重複学級部会には福岡教育大学一木薫様、小学部部会には県こども総合療育センター楠本敬二様、中学部部会には県教育庁特別支援教育課前川美穂子様に助言者として御参加いただき研究経過を報告しました。講演では福岡教育大学一木薫様に「学びの履歴を目標とした実態把握と目標設定」という演題で本校の今後の研究の方向性について示唆を与えていただきました。

中間報告会が出た課題をもとに、来年度も継続して研究に取り組みます。



小学部校外学習

2月4日（火）、小学部は宇土シティモールにて校外学習を行いました。ボウリングや遊具、昼食、買い物など、いろいろな活動を経験しました。3・5年生は仕事調べにも取り組みました。事前に名刺を作ったり、インタビューの練習をしたりして準備し、当日も意欲的にお店見学やインタビューをすることができました。この活動を通して、いろいろなお店があることや、お客さま一人一人を大切にしていること、公共施設でのマナーなどを学びました。学習の最後には、わかったことを壁新聞にまとめて学部集会で報告しました。



VIENTOコンサート

2月7日（金）に、文化芸術体験事業の一貫で、阿蘇を中心に活動されている『VIENTO』（ビエント）のおふたりによる、シンセサイザーとオカリナやケーナ等の民族楽器のコンサートが本校体育館にて行われ、小学部、中学部、高等部重複学級の児童生徒38名が参加しました。プロの迫力ある演奏を間近で聴き、壮大な音楽に子どもたちも魅了されていました。また、珍しい様々な民族楽器にも触れ、楽しい時を過ごすことができました。

